

株式会社ジェイコム東京 足立局  
放送番組審議会 議事録

2020年度の放送番組審議会は、2021年3月23日（火）にシアター1010 講義室で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

大兼 茂子 様  
齋藤 幸枝 様  
櫻井 雄基 様  
神保 義博 様 代理出席 今 茂 様  
三石 美鶴 様  
山崎 健 様 (50音順)

ご欠席 なし

事業者である足立局石渡局長から局の現況報告について報告があった。  
互選により審議会会長、副会長を選任、会長に齋藤幸枝様、副会長に大兼茂子様を選任した。

【審議 質疑応答】 齋藤会長による進行  
冒頭、地域コミュニケーション統括部より本会の審議内容である番組について概要説明があった。

■ 番組制作についてのご意見、ご要望

(委員)

コロナ禍でリモート取材されていると思いますが、宣言下に現地に行けないこともあったかと思いますが、取材は今後どのように再開されるのでしょうか。

(事業者)

取材自粛は継続しておりまして一昨年のように現地に行く取材体制にはまだ戻れません。ただし、宣言が解除となったため、現地に行く取材の本数は少しずつ増やすことを計画しています。オンライン取材でもつながり感はしっかり作っていきたいと思います。

(委員)

全国でマラソン大会の中止が相次ぎました。フレンドリーマラソンはバーチャル開催となり参加者は減少したが全国津々浦々から参加してもらえるとというメリットもありました。コロナ禍で新たな広がりが生まれました。ジェイコムさんの番組では参加者募集について協力をしていただきました。

(委員)

四年前に足立区に引越してきました。コミュニティ番組 DVD を見て、身近なことについて意外と知らない自分に気づきました。家族は、DVD で紹介していたお店を他の民放番組でも気になっていた、ので詳しく改めてお店を知ることができてよい、と言っていました。地域密着のテレビ局ならではの良さがある、と思いました。

また、今インターネットとテレビがつながってきている状況なので、親子で参加できる番組などもあればさらによいのかな、とも思いました。

(委員)

デイリーニュースは、去年まで「足立・葛飾」という括りで報道されていたが、最近見ると墨田区など近隣区域のものも見られるようになりましたが、どのような事情でそのようになったのでしょうか。

(事業者)

昨年 3 月にコロナ禍が始まった頃は東京でひとつの「コロナ関連情報」を放送するようにしていました。その後、緊急事態宣言下で出社できるスタッフ数も制限したため、近隣区域でまとめた「中域放送」に変更し、先日宣言解除になった段階で、本来の区域である「狭小区域放送」に戻すことになりました。

(委員)

そうですか。「中域放送」のときは墨田区の番組も見ることができ、墨田区長のメッセージが聞けて、とてもためになりメリットを感じましたが、その分「足立・葛飾」のニュースが減ってしまうと、それはそれでデメリットにもなるかもしれないですね。

(事業者)

「つながるニュース」は 2020 年 10 月に編集長制度を設けました。足立区のニュースを足立区でローカル放送するだけでなく、近隣区域にも広げたほうがよいものについては編集長裁量で近隣区域でも放送できるようにしました。今後も柔軟かつ臨機応変に対応していきたいと考えています。

(委員)

番組の文字情報は広告的要素が含まれているものなのでしょうか。

(事業者)

内容によります。公益性のあるものについては、番組中でお知らせしつつも、広告料は発生しておりません。

(委員)

私の家のテレビの 10 チャンネルはテレビ埼玉が映り、J:COM テレビが見られません。何か理由があるのでしょうか。11 チャンネルは J:COM チャンネルが見られます。加入して 20 年ほどになります。

(事業者)

ご加入いただいた頃は、JCOM テレビの放送はなく、テレビチューナーのチューニングが当時のままかと思われます。テレビ機器のチャンネルを再スキャンしていただければ映るようになります。今後、同じようなケースでのご案内不足を解消できるように改善していきたいと思います。

(委員)

それでは、続いて個々の番組についてご意見を伺います。「家ごはん」についてはご意見、いかがでしょうか。

(委員)

個々のお店紹介はよいのですが、全体を把握できるマップがあればよかったです。

(委員)

「ニュース」はいかがでしょう。コロナ禍でどのような取材方法をとられていたのでしょうか。

(事業者)

取材先のみなさんからホームページでの映像素材等もお借りしながらニュースも作成しておりました。

(委員)

身近にあるカレー屋さん、すし屋さんも意外と知らなかった。発見がありました。

(委員)

「人図鑑」はいかがでしょう。登場いただく方はどのようにセレクトしているのでしょうか。足立区広報さんとの関連はあるのでしょうか。

(事業者)

出演いただく方は、地域プロデューサーへのご紹介もありますし、ネットで検索することもあります。

(委員)

区で把握しているリストは子どもたちが多いのですが、区広報に限定せず人図鑑でも取り上げていただく連携は考えていきたいです。

(委員)

人図鑑で同行援護の会社の社長さんの放送回、生物園のチョウの飼育委員の方の放送回は、とても参考になりました。人を通じていろいろな知識が得られる。なかなか素敵な取り組みで、ときどき人図鑑はチェックしなければと感じました。MC への木曾さんちゅう自身さんも勉強になったというおりました。

(事業者)

先日開催された「あだちワンダフル CM コンテスト」受賞者は中国からの留学生でしたが、出演してもらいたい方の一人になるかと思っています。

(事業者)

番組は子どもも参加できます。毎年、夏休みや春休みの機会に子どもたちの出演もお願いしておりました。区内在住に限らず「足立区を愛し、足立区のために活躍している人」というコンセプトに合致する方であれば出演が可能です。

(委員)

コロナ対応されていた区内の医療機関に従事されていた方々を、番組で支援する方法は何かないものでしょうか。

(事業者)

病院側からいただく協力は規制があり困難ですが、地域住民による病院への働きかけについては取材し、番組で紹介し多くの方に知っていただくことができます。ぜひ情報提供いただきたいと思います。

(事業者)

医師会にも各病院の動きが伝わっているかと思しますので連絡を密にとり、そういう話題は取材していきたいと思えます。

(委員)

フレンドリーマラソンでは参加費を災害区域にある市町村に義援金をお渡ししてきました。参加者が増えれば義援金が届けられるので今後も続けていきたい。

また、定野教育長は人権について広い心を持っていて、足立区教育委員会では人権教育を推進しています。小学校の中にはまだまだ教える側が手探りですが LGBT 授業を行っているところもあり、人権授業の大切さについて、より多くの区民に広く知ってもらいたい。ジェイコムさんの番組でも取材してほしい。

(委員)

最近、ニュースの伝え手が 2 名になったのは、かけあいがとても良いように感じます。木曾さんの雰囲気も温かみがあって、よい取り組みと感じました。

(事業者)

制作側の狙い通りでして、ありがとうございます。1 名ではどうしても一方的に伝えがちになってしまいます。そこに伝え手側の 2 名の会話が入れば、馴染み感が増えて、放送自体は片方向のものではありますが、視聴者との間に何らかの双方向感を持たせられるので、その雰囲気を大切にしていきたいと思えます。

(委員)

4 回目となる「おうち de あだちサンタウォーク」はコロナ禍の影響で中止になる可能性がありましたがオンライン参加等の新しいカタチで実施できてよかったと思えます。サンタクローズ衣装でデリバリーしたプレゼントに子どもたちも喜んでくれましたし、今後もこのカタチは活かせるのではないかと感じました。

（事業者）

商店街様からの協力金、青年会議所様のスタッフ参加等、地域の方々に支えられているイベントですので大変感謝しております。今後も継続的なご支援をお願いいたします。

閉会（事務局）

委員の皆さんからの貴重なご意見をたくさんいただきました。ご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていきたいと存じます。

以上